

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ B 群	
	対象学科・専攻	情報工学科	
情報工学特論 I (Information Engineering Topics I)	担当教員	入江 智和 (Irie, Tomokazu)	
	教員室	情報工学科棟 5 階 (TEL : 42-9099)	
	E-Mail	irie@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 学修単位 [講義 I] / 1 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分) + 自学自習 (80 分)] × 15 回		
[本科目の目標] ネットワークプロトコルのデファクトスタンダードである TCP/IP の基礎知識を習得すること。			
[本科目の位置付け] 学問的というよりはむしろ実践的に TCP/IP に触れることで、OSI 参照モデルにおけるネットワーク層以上の通信の成立に主眼を置く。4i 通信工学の事前修得を望む。			
[学習上の留意点] 自学自習において教科書を精読し、予習すること。公平を期するため、中間・期末試験直前それぞれの授業以後から中間・期末試験直後それぞれの授業までは個別の質疑には応じないので留意すること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. ガイダンス	1		
2. OSI 参照モデル	1	<input type="checkbox"/> プロトコルを説明できる。 <input type="checkbox"/> 標準化とその重要性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 要件の拘束力について説明できる。 <input type="checkbox"/> 標準について説明できる。 <input type="checkbox"/> OSI 参照モデルを説明できる。	教科書 1.3~1.6 を精読する。
3. インターネットと TCP/IP	3	<input type="checkbox"/> 回線交換とパケット交換それぞれの特徴を説明できる。 <input type="checkbox"/> ARPANET を説明できる。インターネット発展の経緯を概説できる。 <input type="checkbox"/> internet と Internet の違いを説明できる。 <input type="checkbox"/> TCP/IP の標準化を説明できる。 <input type="checkbox"/> RFC を説明できる。 <input type="checkbox"/> TCP/IP と OSI 参照モデルとの対応を説明できる。 <input type="checkbox"/> コネクション型通信とコネクションレス型通信それぞれの特徴を概説できる。	教科書 1.7~2.5 を精読する。
4. 代表的なアプリケーションプロトコル	2	<input type="checkbox"/> HTTP の基本的なリクエストを生成できる。 <input type="checkbox"/> SMTP で簡単な内容のメールを直接送信する一連のリクエストを生成できる。 <input type="checkbox"/> POP でメールを参照する一連のリクエストを生成できる。	教科書 8.3, 8.4 を精読する。
5. インターネットプロトコル (IP)	5	<input type="checkbox"/> ノードが IP で通信するために最低限必要な設定項目を暗唱できる。 <input type="checkbox"/> IP アドレスを説明できる。 <input type="checkbox"/> サブネットマスクを説明できる。 <input type="checkbox"/> IP による通信のモデルを説明できる。 <input type="checkbox"/> 特殊用途のアドレスを説明できる。 <input type="checkbox"/> IP ヘッダの構成とその内容を説明できる。 <input type="checkbox"/> IP パケットのフラグメントを説明できる。	教科書 4.1~4.3, 4.5, 4.8 を精読する。
6. アプリケーションプロトコル演習	2	<input type="checkbox"/> HTTP の基本的なリクエストを送信できる。 <input type="checkbox"/> SMTP で簡単な内容のメールを直接送信できる。 <input type="checkbox"/> POP でメールを参照できる。	授業項目 4 の復習を確実に行う。
—前期中間試験—		授業項目 2~6 について達成度を確認する。	
>>> 次頁へつづく >>>			

